

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		(精) 必修 (社.発) 選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
森屋 直樹	講師控室	kyoumu	授業時間の後		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;地域定着や地域生活を支援するための援助技術や援助展開について、ケアマネジメントを中心に理解し、説明できるようになることを目的とする。地域を基盤とした生活支援は、精神保健福祉士の支援の基本となる部分であり、地域資源のネットワークを主としたケアマネジメントに関することを中心に講義する。ケアマネジメントに関する理論や手法などを正確に理解できるよう促していく。</p> <p>&lt;概要&gt;授業はテキストを中心に、同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、テキストに書かれている内容が実践現場においてどのように行われているか事例をもとに説明する。ケアマネジメントについて、PBL、ディスカッション・ディベート、グループワークを用い理解を深める。なお、授業時間内にフィードバック及び意見交換の機会を設ける。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	ケアマネジメントに関する理論や手法などを正確に理解できるよう学んでほしい。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 5 第 2 版 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ/編:日本精神保健福祉士養成校協会編/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域定着や地域生活支援に係る援助技術や援助展開について理解し、説明できる。		WP(5)、(6)		
②	ケアマネジメントに関する理論や手法について理解し、説明できる。		WP(2)、(3)		
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、授業概要を説明する。	同時双方向型授業	シラバスを確認する。	4	
2	地域ネットワークの理解について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
3	アウトリーチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
4	地域生活支援事業と訪問援助について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
5	家族会・セルフヘルプグループについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
6	精神保健福祉ボランティアの育成と活用について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
7	ケアマネジメントの原則について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
8	ケアマネジメントの意義と方法について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
9	ケアマネジメントの展開過程について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
10	チームケアについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
11	地域を基盤にした支援の概念について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
12	地域アセスメントについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
13	地域を基盤にした支援の具体的展開について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
14	包括的な支援の意義と展開について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
15	全体の復習を行う。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	10	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	毎回の講義毎に理解度チェックを行う。授業の理解が進むよう毎回講義内でフィードバックを行う。また試験に必要なポイントについても説明する。定期試験は筆記試験で実施し、評価割合を 80%とする。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	数回に分けてレポートを課す。レポートの評価割合は 20%とする。				レポートを採点后返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	教員の実務経験 : 精神保健福祉士取得後、22 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	あらゆるフィールドで実践する精神保健福祉士が求められる援助技術について、現場での具体的事例を基に意見交換を行い理解を深めていく。						
そ の 他	Microsoft Teams を使った同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。						